

# 姉妹都市 レポート

in  
香南

## 交流の歴史

沖縄戦跡国定公園に指定されている八重瀬町の具志頭城址には、「土佐之塔」が建立されています。土佐之塔は、昭和41年に建立され、高知県出身の南方地域戦没者17,713柱、沖縄戦の戦没者832柱が合祀されています。

高知県遺族会が中心となる毎年の慰霊訪問をきっかけに旧具志頭村と高知県の交流が始まりました。そして、昭和56年には旧具志頭村の子どもたちが野市町（現在の香南市）を訪問し、交歓会を行ったことから両町村の交流が始まっています。その後、交流が続ぎ、旧具志頭村と旧野市町で姉妹都市提携が結ばれ友好を深めてきました。

## 現在の交流

平成の市町村合併により八重瀬町と香南市が誕生してからもお互いの友好に対する思いは、受け継がれており、姉妹都市提携と防災応援協定を締結。また、八重瀬・高知児童交歓会や物産フェア、文化交流などを介して多様な面で交流の場を広げています。

▶自然災害で被災した場合に支援し合う防災応援協定を締結



八重瀬町は、平成18年11月に高知県香南市と「姉妹都市提携」を結び、平成19年1月には「防災応援協定」を締結しました。高知県の慰霊の礎「土佐之塔」が建立されたのをきっかけに、現在では、行政や教育、文化、産業など多様な面での交流とお互いの支援体制を約束することで固い絆を築いています。

# 慰霊訪問を きっかけにした 絆

▶新市・新町になってから結ばれた姉妹都市盟約調印式



▶毎年実施している児童交歓会



▲交流のきっかけとなった土佐之塔

具志頭城址公園内にある土佐之塔



高知県高知市の東部約20kmから30kmに位置する香南市は、高知県の5町村（赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村）が合併して誕生したまちです。東西20km南北15kmの広さを持ち、126・49kmの面積を有しています。南部地域は低山が連なる中で里山環境が広がり、北部地域は標高約300mから600mの四国山地の一部を構成しており、四国山地を源流にする物部川、香宗川、夜須川などが流れるなど、豊かな水と緑に包まれた地域です。

概要



香南市

の

見所



■ ヤ・シィパーク

砂浜に沿って伸びる全長約530mの樹の遊歩道や環境省の「快水浴場百選」にも選ばれた、清らかな水辺が美しい海水浴場、グルメからファッション、お土産まで一度に楽しむことができる「道の駅やす」など見所と楽しさいっぱいの施設です。



■ どろめ祭り

毎年4月、赤岡町の浜辺に世界の名だたる酒豪達が集まり、地引き網でとれたてのドロメ（マイワシ・ウルメなどの稚魚）を肴に男性は一升（1.8リットル）女性は一合（0.9リットル）をぐいぐい飲み、「飲み干す時間」「飲みっぷり」の総合得点を競います。



■ 絵金祭り

昭和52年から香南市赤岡町で始まった絵金祭り。赤岡町には土佐芝居絵屏風が23点残されており、赤岡町須留田八幡宮と絵金祭りの宵にだけ蔵の中から目覚め商店街の軒先にもその姿を現します。絵金祭りは7月第3週の土日開催されます。



■ 物部川

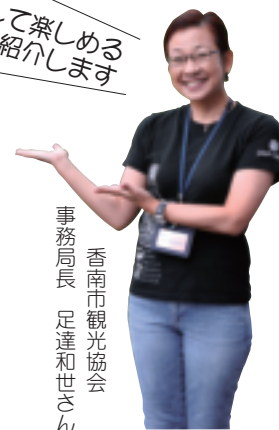
四国山地に源があり吉川町を経て太平洋に注ぐ物部川。四国第1位にも輝いた良質な水質を誇ります。物部川が流れる一帯は、緑豊かな山間部で、四季折々の自然と物部川が作り出す渓谷美が、豊かな風景を描き出しています。



■ のいち動物公園

平成3年にオープンした「県立のいち動物公園」は、檻や柵が少なく、動物の生息環境に近づけた話題のバイオーム方式で展示を行っています。野生に近い環境でのびのびと動物の姿を見ることのできる動物公園です。

一年通して楽しめる香南市を紹介します



香南市観光協会  
事務局長 足達和世さん

旧町村時代から交流に深く関わっている弘田さんにお話を伺いました。



香南市遺族会会長 弘田忠士さん

旧 町村時代は、児童生徒の交流を始め、産業や民俗芸能など多種多彩な催しが行われ、相互間の信頼関係を深めてきました。平成の合併により新市・新町になってからも姉妹都市提携や防災応援協定が締結された事は、遺族会としてよりも市民の一人として大変うれしく、何かの際にはたよりになる心強い存在と思っています。今後も具志頭城址は、高知県遺族会及び高知県民にとって第二の故郷と考え、「土佐之塔」の慰霊祭を継続していきたい。そして、香南市と八重瀬町間の親交を深めることに努め共に大きく飛躍することを期待しています。

両市町間の親交を深め、共に飛躍することを期待しています。

# 姉妹都市レポート

総勢60人の  
エイサー隊  
in 香南

レポート1  
みなこい港まつり

ハイパー



7月25日、26日、高知県香南市で開催された「香南市みなこい港まつり」。八重瀬町の富盛青年会が2日間に渡り、地元のエイサーを披露しました。姉妹都市提携を結ぶ高知県香南市で毎年開催している祭りをこれまでに以上に盛り上げようと、祭り実行委員会がエイサー団体を招聘。八重瀬町からは富盛青年会をはじめ、町長、議会議長・副議長、商工会長、青年連合会長など総勢約80人が祭りに参加し

ました。祭り2日目には、降雨に見舞われ一時中断される場面もありましたが、予定通り2日間演目が行われ、富盛青年会は町の代表曲「汗水節」「八重瀬賛歌」、富盛独自の「ハルマイ」など全9曲が披露されました。2日目、最後の演舞を終えた後、出場団体や観客も参加してカチャーシーが踊られ、会場中に太鼓の音と指笛が響き渡りました。



ハイパー

四国最大級の野外ステージ「天然色劇場」を主会場に開催している「みなこい港まつり」。今年は、高知県を代表するイベントにしようと日程を2日間に拡充。高知県下を代表するよさこい踊りが披露され、2日目の夜には4千発の花火が打ち上げられました。

レポート3  
納涼祭にイサッサー

7月26日、香南市にある老人ホーム「オーベルジュ」の納涼祭に招待された富盛青年会。祭りに参加できない利用者の方々にもイサッサーを観てもらいたいと訪問しました。約50人の観客の前でイサッサーを披露しました。利用者の塩井さんは「目の前でイサッサーを観て迫力があつた。もう少し若ければ一緒に踊りたかつたね」とはじめて観たイサッサーを楽しんだ様子でした。

レポート2  
八重瀬町産をPR

今回の富盛青年会に加えて八重瀬町商工会の商業サービス部会のメンバーも祭りに参加しました。会場に八重瀬町の物産販売所を設け、黒糖やちんすこう、もずくなどを販売。八重瀬町産を香南市の方々にも広くアピールしました。



レポート4  
参加者インタビュー



野原麻美さん

イサッサーが終わった後、会場の人たちも一緒になってカチャーシーを踊った。高知の人たちと自然に触れ合うことができてうれしかった。



石原達也さん

よさこい踊りを見て情熱的に演じるところが沖縄のイサッサーと通じるところがあるように感じた。歓迎する心も温かい。



富田優希さん

小さな資金集めからはじまった香南市のイサッサー派遣。多くの人の支えで無事成功に終えることができた。協力してくれた人たちに感謝したい。



川端健太さん

八重瀬町の代表として誇りをもって演舞に望むことができ、青年会が一つになることを実感することができた。イサッサーを通して沖縄の文化が伝わってくれたと思う。



照屋汰久摩さん

初めて目のあたりにしたよさこい踊り。迫力や演技力に驚いた。一時雨で中断したが、最後まで踊ることができてよかった。



城間美千子さん

高知県のお客さんの前でイサッサーを踊れたことは、一生の思い出。少しの間の交流であつたけれど楽しかつた。次回も行く機会があればもう一度参加したい。



野原康寛さん

今回OBとして青年会のサポートできればと参加しました。人の交流を通じてお互いの文化が通じ合えたと思う。



野原智尚さん

沖縄に帰ってからも高知と聞くと香南市を思い出す。あつという間の交流だったけれどもとても充実した2日間だった。